



園だより 1月号

「はじまりのとき」

芝浦アイランドこども園
平成 30年 1月 4日発行

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年から続く冬の寒波にも負けずに子どもたちは、冷たい風の中でも園庭で元気よく遊んでいます。

異年齢児交流は、毎日いろいろな時間帯で自然とできているのですが、積極的に交流しようと年2回の「異年齢児交流ウィーク」を設けています。5歳児さんにフープを教えてもらっている4歳児さん、5歳児さんの真似をして何度もチャレンジして3回まわせると2人で「できた!」「やった!」と同時に喜びの声。5歳児さんの手押し車に乗せてもらって大きな声で「もう1回!」と叫んでいる2歳児さん、まだ待っているお客さんが「つぎ!」「おりて!」と言っている横で、もう1台の5歳児さん手押し車が現れ「こっちもいいよ」と遊びの輪が広がっていきました。



クラスが違って園内で会う中で、「一緒にあそぼ」と名前を呼んで遊んでいる姿が多く、の場所で見られます。兄弟数が少なくなった昨今、縦割りグループで過ごす遊びをたくさん取り入れて豊かな心を育てていきたいと思っています。年下の子どもたちは年上の子どもたちの動きや話しを学び「真似る」「憧れる」ということで大きな成長がみられます。また、年上の子どもたちも年下の子どもたちに対する言葉がけやお世話をすることで思いやりを育む良い機会となり、道徳心を養っています。

(園長 宇野 雪枝)

1月行事予定

- 4日(木) 新年保育開始
- 9日(火) 始業式・安全指導
- 12日(金) 英語(4歳児)
- 16日(火) 体力向上プログラム(4歳児)
- 18日(木) おはなし会
ほっとするコーヒーやさん
- 19日(金) 英語(5歳児)
- 23日(火) 消火避難訓練(不審者対応含む)
- 25日(木) 誕生会
- 26日(金) 英語(4歳児)
- 30日(火) 体力向上プログラム(5歳児)

- 内科健診 17日(水) 0.1歳児
- 24日(水) 0.2歳児
- 身体測定 9日(火) 2歳児
- 10日(水) 0歳児
- 11日(木) 3歳児
- 12日(金) 1歳児
- 19日(金) 4.5歳児



ほっとするコーヒーやさん
18日(木) 16:30~19:00
ZF7レコナで
お待ちしております!

- 10日・24日(水) 園庭開放
- 18日(木) こども園で遊ぼう
- 29日(月) 第3回子育て育児講座 「グローバル社会と乳幼児の脳の発達について」
ハリール ハッサン 小児外科医・バーレーン王国特命全権大使

こども園の教育・保育



4・5歳児は、太鼓の練習など2月の発表会に向け始動しました。

「主体的な学び」・・・発表会で披露していく太鼓や劇、楽曲に興味や関心を持って積極的に練習に加わり、投げ出さずに粘り強く取り組んでいきます。

「対話的な学び」・・・練習に取り組む過程で自分の思いや考えを出し合ったり、みんなで協力し自らの考えを広げ他の人の意見を受け入れたり、対話的な学びを育てていきます。

「深い学び」・・・練習に取り組む過程で子どもの心が動く、感性や感覚や心情が働くことや、そこで思考錯誤したり頭を働かせることが考える力につながっていきます。

考える力を養い、取り組みの体験を幾度も行い協同して作品を作り上げる。みんなの中の自分、その体験がいくつもあつたことで相互に結びついて深い学びを培っていきます。

0歳児：冬を感じながら、戸外あそびを楽しむ

保育者や友だちと関わりをもちながら、探索を楽しむ

1歳児：好きな遊びを通して、保育者や友だちの関わりを楽しむ

身の周りの簡単なことを保育者に手伝ってもらいながら、やってみようとする

2歳児：保育者や他児と一緒に冬の自然に触れ、身体を動かして遊ぶ

保育者に見守られながら、身の周りのことを自分でしようとする

3歳児：簡単なルールのあるあそびや正月あそびを楽しむ

友だちとの関わりの中で、自分の気持ちを相手に言葉で伝えようとする

4歳児：友だちや保育者と関わりを広げながら、相手の気持ちに寄り添って考えようとする

身近な素材や道具を使い、工夫して作ることを楽しむ

5歳児：冬の健康な生活の仕方がわかり、自ら行おうとする

自分の感じたイメージを表現したり、友だちと共通の目的を持って作りあげたりしていく喜びや満足感を味わう

一時保育：保育者や友だちと正月ならではの遊びを楽しむ

戸外に出て寒さに負けないように身体を動かす



フィンランドはどこにあるの?・・・思考力の芽生え

誕生会が終わり、子どもたちの遊戯室の集会は続き5歳児さんの歌を聴いたり、みんなでクリスマスの歌を歌い終わると、鈴の音が聞こえ大きな白い袋を抱えたサンタクロースが登場しました。インタビュアーが入り、サンタさんのお話を聞き「とははいつですか?」「どうやってきたんですか?」などいくつもの質問があがり、どの子も熱心に話を聞き最後にプレゼントはお部屋でサンタさんからいただきました。



その日、4歳児さんと一緒に給食を摂っているとサンタさんの話題になりました。サンタさんのお話にあつたフィンランドのラップランドはどこにあるのだろうかとお話が盛り上がり、写真を見て「雪が多かったね」「寒いんだね」「夏はどうしているんだろう?」「プールで泳ぐんじゃない」「トナカイは今どこにいるんだろう?」会話は途切れることなく、みんなの想像力がどんどん広がっていきました。帰りのフロントでは、地球儀をみて「フィンランドはどこだろう?」と探している風景がありました。